

科目名	現代の国語		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	現代の国語（筑摩書房） 新しい常用漢字（数研出版） 現代評論選（数研出版） 新国語総合ガイド（啓隆社）
学年 学級	1年創造理数科 （1クラス）	単位数	2単位	教科 担当	大坪

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	「ことばとは何か」（教科書） 「言語学とは何か」（評論選） 「境目」（教科書） 「主体という物語」（教科書） 「開かれた文化」（教科書） 「ことばがつくる女と男」（教科書）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評論文の用語を理解し、語彙力を高める。 ・ 評論文の構造をつかむ。 ・ 内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 ・ 目的に応じて、文章やそのほかの情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈して、自分の考えを深める。 ・ 他者と論点を共有し、対話を通して考えを広げたり深めたりする。 ・ 言葉がもつ価値や役割を認識して、理解を深める。
2 学期	「マルジャーナの知恵」（教科書） 「終わりなき差異化と模倣の反復」（評論選） 「贈り物と商品の違い」（教科書） 「デジタル社会」（教科書） 「メディアと倫理」（評論選） 「ポスト真実時代のジャーナリズム」（教科書）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評論文の用語を理解し、語彙力を高める。 ・ 評論文の構造をつかむ。 ・ 内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 ・ 目的に応じて、文章やそのほかの情報を相互に関連付けながら、文章の構成や論理の展開などを把握して、自分の考えを深める。 ・ 他者と論点を共有し、対話を通して考えを広げたり深めたりする。 ・ 情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深めて、実社会との関わりに応用する。
3 学期	「名づけと所有」（教科書） 「失われた両腕」（教科書） 「サイエンスの視点、アートの視点」（教科書） 「感性は感動しない」（評論選）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評論文の用語を理解し、語彙力を高める。 ・ 評論文の構造をつかむ。 ・ 内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 ・ 目的に応じて、文章やそのほかの情報を相互に関連付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするなどして、自分の考えを深める。 ・ 他者と論点を共有し、対話を通して考えを広げたり深めたりする。

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

- 1 休業中の課題や、小テスト・提出課題は、計画的・継続的に取り組み、必ず復習する。
- 2 授業中は、学習活動に集中し、提示された内容について深く考え、自分の言葉で説明する努力をする。
- 3 課題テスト・定期考査・模試は、返却後よく点検し、間違えた問題についてはなぜ間違えたのかを明らかにし、復習して定着を図る。
- 4 詳細は、各担当者の指示に従うこと。

評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養		知識・技能	論理的思考力 情報発信力 (表現力・論述力)	粘り強く取り組む力	
評価規準		<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を比較、分類して理解できる。 評論文中における語彙を正しく理解し、文章の中で使用することを通して語彙を身につけている。 科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章を対比、分析、解釈することができる。 演習等を通して、推論、図解、検討することができる。 論理的に思考する力を身につけ、的確に表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で述べられている事柄について関心を持ち、主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につけている。 評論における構成や論理の展開に注意しながら読解し、内容的に正確に解釈する態度を身につけている。 多様な仲間と協働する姿勢を身につけている。 粘り強く課題に取り組む姿勢を身につけている。 文章で読んだ内容を実社会と結びつけて、さらに深く思考することができる。 	
A	立高生として目指すべき目標	レベル4	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、文章を整理し、説明できる。 科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能を身につけ、応用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章や言語を対比、分析、解釈などを行い、科学的に探究する力の基本的な部分を理解し、身につけ、習熟し、さまざまな場面で応用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で述べられている事柄について関心を持ち、主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につけて、常に行動に移すことができる。 文章を解釈し、仮説を立て、検証する態度を身につけている。 協働する姿勢、粘り強く取り組む姿勢を身につけて、常に行動に移すことができる。
B	立高生として求める標準	レベル3	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、文章を理解し、定義する。 科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能を身につけ、活用できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 対比、分析、解釈などを行い、科学的に探究する力の基本的な部分を理解し、身につけ、習熟している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で述べられている事柄について関心を持ち、主体的に関わりようとする態度を身につけて、行動に移すことができる。 文章を解釈し、理解する態度を身につけている。 協働する姿勢、粘り強く取り組む姿勢を身につけて、行動に移すことができる。
		レベル2	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、文章を理解し、反復、引用する。 科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能をある程度身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 対比、分析、解釈などを行い、科学的に探究する力の基本的な部分を理解し、概ね身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で述べられている事柄について主体的に関わりようとする態度を身につけて、行動しようとする努力している。 文章を理解する態度を身につけている。 協働する姿勢、粘り強く取り組む姿勢を身につけ、行動しようとする努力している。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会との関連を図りながら、文章を理解する。 科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 対比、分析、解釈などを行い、科学的に探究する力の基本的な部分を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で述べられている事柄について主体的に関わりようとする態度を身につけようとしている。 文章を理解することの重要性を理解している。 協働する姿勢、粘り強く取り組む姿勢を身につけようとしている。
評価方法		・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	

科目名	言語文化		必修 学校必修 選択必修	使用 教材	精選言語文化（東京書籍） 完全マスター古典文法（第一学習社） 新明説漢文（尚文出版） 新国語総合ガイド（啓隆社）
学年 学級	1年創造理数科 （1クラス）	単位数	3単位	教科 担当	大坪

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	古文・古文の基本「児のそら寝」 ・「絵仏師良秀」（宇治拾遺物語） ・「大江山の歌」（十訓抄） 漢文・訓読の基本 ・「推敲」 ・「朝三暮四」 古文・「芥川」「東下り」「筒井筒」（伊勢物語） 漢文・故事「借虎威」 ・故事「塞翁馬」	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的仮名遣いの特徴とその読み方について理解し、本文を正確に音読している。 ・古文に特有の語や文法を認識し、古語辞典や文法書を使うことができる。 ・活用の概念と、係り結びを理解している。 ・用言の活用を理解し活用表を作成できる。 ・訓点を理解し漢文を書き下し文にできる。 ・本文を正しく音読することができる。 ・文法事項を踏まえて現代語訳できる。 ・漢文の句形を理解し中国の歴史や文化に親しみながら漢文を読むことができる。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について考えを深めることができる。
2 学期	古文・「馬のはなむけ」「帰京」（土佐日記） ・「丹波に出雲といふ所あり」（徒然草） 漢文・文章「雑説」 ・唐詩「鹿柴」「春暁」「涼州詩」「春望」 「香炉峰下」 古文 ・「五月ばかりに山里に歩く」 「ありがたきもの」（枕草子） ・和歌 万葉集 古今集 新古今集 修辞全般 現代文 詩歌 短歌 俳句 漢文 ・史話「晏子之御」（史記） ・史話「管鮑之交」（十八史略） ・史話「臥薪嘗胆」（十八史略） 古文 ・「木曾の最期」（平家物語）	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を正しく音読することができる。 ・基本的な助動詞・助詞の意味用法について理解している。 ・文法事項を踏まえて現代語訳できる。 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解して、作品や文章を読み味わうことができている。 ・基本的な句形と近体詩のきまりを理解し唐詩を鑑賞することができる。 ・文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について考えを深めることができる。
3 学期	古文 ・「天の羽衣」 「富士の山」（竹取物語） 漢文 ・思想「論語」 「孟子」	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を正しく音読することができる。 ・敬語表現の種類と用法を理解している。 ・文法事項を踏まえて現代語訳できる。 ・漢文の句形を理解し、中国の歴史や文化に親しみながら漢文を読むことができる。 ・作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解して、作品や文章を読み味わうことができている。

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

- 1 予習として、本文を音読する。重要語句をノートに調べる。
- 2 副教材を活用し、文語文法、漢文の句形、文学史的事項を習得する。古文・漢文の文法書は授業時にも持参する。
- 3 繰り返し復習をし、授業の内容を完璧に身につける。
- 4 詳細については、担当者から指示に従うこと。

国語科 教科名 言語文化 のルーブリック					
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養		知識・技能	論理的思考力 情報発信力 (表現力・論述力)	粘り強く取り組む力	
評価規準		・日常生活や社会との関連を比較、分類して理解できる。 ・古語や文法、古文常識等を明確に理解できる。 ・科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能を身につけている。	・文章や言語を対比、分析、解釈する。 ・演習等を通して、推論、図解、検討する。 ・科学的に探究する力を身につけている。	・文学や言語学に関心を持ち、主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につけている。 ・語義や文法を尊重しながら読解し、解釈する態度を身につけている。 ・多様な仲間と協働する姿勢、粘り強く課題に取り組む姿勢を身につけている。 ・古典文学の世界を理解し、言語観、文学観を身につけている。	
A	立高生として目指すべき目標	レベル4	・日常生活や社会との関連を図りながら、文学や言語文化について理解したことを整理し、説明できる。 ・科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能を身につけ、応用できる。	文章や言語を対比、分析、解釈などを行い、科学的に探究する力の基本的な部分を理解し、身につけ、習熟し、さまざまな場面で応用できる。	・文学や言語文化に強い関心を持ち、主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身につけて、常に行動に移すことができる。 ・語義や文法を尊重しながら文章を解釈し、仮説を立て、検証する態度を身につけている。 ・協働する姿勢、粘り強く取り組む姿勢を身につけ、常に行動に移すことができる。
B	立高生として求める標準	レベル3	・日常生活や社会との関連を図りながら、文学や言語文化について理解したことを定義する。 ・科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能を身につけ、活用できる。	対比、分析、解釈などを行い、科学的に探究する力の基本的な部分を理解し、身につけ、習熟している。	・文学や言語文化に関心を持ち、主体的に関わろうとする態度を身につけて、行動に移すことができる。 ・語義や文法を尊重しながら文章を解釈し、理解する態度を身につけている。 ・協働する姿勢、粘り強く取り組む姿勢を身につけて、行動に移すことができる。
		レベル2	・日常生活や社会との関連を図りながら、文学や言語文化について理解したことを反復、引用する。 ・科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能をある程度身につけている。	対比、分析、解釈などを行い、科学的に探究する力の基本的な部分を理解し、概ね身につけている。	・文学や言語文化に主体的に関わろうとする態度を身につけて、行動に移そうと努力している。 ・語義や文法を尊重しながら文章を理解しようとする努力をしている。 ・協働する姿勢、粘り強く取り組む姿勢を身につけて、行動に移そうと努力している。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	日常生活や社会との関連を図りながら、文学や言語文化について理解する。 ・科学的に探究するために必要な読む力、書く力、話す・聞く力に関する基本的な技能を理解している。	対比、分析、解釈などを行い、科学的に探究する力の基本的な部分を理解している。	・文学や言語文化に主体的に関わろうとする態度を身につけようと努力している。 ・語義や文法を尊重しながら文章を理解することの重要性を理解している。 ・協働する姿勢、粘り強く取り組む姿勢を身につけようと努力している。
評価方法		・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	

科目名	論理・表現 I		必履修	使用教材	Crown, Logic and Expression I (三省堂) ブレイクスルー 総合英語 (美誠社) ブレイクスルー 英文法 36 章 改訂二 版、同 ワークブック Focus on Listening Standard Ver. 2
学年 学級	1 年・創造理数科	単位数	2	教科 担当	長谷川 喜大

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	Crown : Lesson 1:スピーチ (人生・ 生き方)、Lesson 2:プレゼンテー ション (食生活と健康)、Lesson 3: ライティング (日本文化) Breakthrough, Lesson 5-14 基本時制、進行形、完了形、助動 詞、受動態 Focus on Listening, Training 1-8	<p>○自分についてのスピーチを完成させ、聞き手にわかりやすく伝えるこ とを意識しながら話す。</p> <p>○聞き手の興味を引き、理解を深める工夫をし、発表する。</p> <p>○自国の文化について情報を集め、論理の構成や展開を工夫して、論理 に矛盾や飛躍がないか、理由や根拠が適切に留意しながら書く。</p> <p>○環境問題について、情報を集め、考えをまとめ、意見を交換する。論 理の構成や展開を工夫して話し、伝え合う。</p> <p>○左記の文法事項について、ルールを理解し、問題演習を行い、定着を 図る。</p>
2 学期	Crown : Lesson 4:ディスカッショ ン (環境問題)、Lesson 5:スピー チ (文学・読書) Lesson 6:プレゼ ンテーション (テクノロジー・発 明) Beakthrough, Lesson 15-27 Additional 1-5 不定詞、動名詞、分詞、関係詞 Focus on Listening, Training 9-16	<p>○データや情報を収集し、肯定・否定の立場から、自分の立場の意見や 考えに、より妥当性や優位性があることを述べる。一つの題材について、 多様な観点から考察する力を身に付ける。</p> <p>○スピーチを完成させ、聞き手にわかりやすく伝えることをより意識し ながら話す。</p> <p>○聞き手の興味を引き、理解をより深める工夫をし、発表する。日本文 化について海外の人の興味を引くような英文にまとめる。</p> <p>○論理の構成や展開を工夫して、矛盾や飛躍がないか、理由や根拠が適 切に留意しながら書く。</p> <p>○左記の文法事項について、ルールを理解し、問題演習を行い、定着を 図る。</p>
3 学期	Crown : Lesson 7:ライティング (都 市・観光)、Lesson 8:ディベート (ボランティア) Breakthrough, Lesson 28-36 Additional 6-10 比較、仮定法、否定、話法 Focus on Listening, Training 17-20	<p>○理想の生活について、情報を集め、考えをまとめ、意見を交換する。 論理の構成や展開を工夫して話し、伝え合う。</p> <p>○データや情報を収集し、肯定・否定の立場から、自分の立場の意見や 考えに、より妥当性や優位性があることを述べる。これまでの活動で身 に付けた、多様な観点から考察する力を生かし、グループで協力し意見 をまとめる。</p> <p>○左記の文法事項について、ルールを理解し、問題演習を行い、定着を 図る。</p>

学習のポイント (授業中や家庭学習の方法)

- ・ 英語という言葉が持つ特徴や文法ルールに関する事項を確認し、積極的にアウトプットする態度を養う。
- ・ 情報・データ等を収集、分析しながら、自分の考えを英語でまとめる姿勢を身に付ける。
- ・ 単なる知識の蓄積に終わらせず、自分の意見を英語で表現したり、伝え合ったりする態度を養う。

1年創造理数科 論理表現Ⅰのルーブリック評価					
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養	知識・技能、情報活用力	情報発信力	協働力		
評価規準	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。 日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能を身に付けている。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫して話し、伝え合っている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ディベート、ディスカッション等の活動を通して、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話し、伝え合おうとしている。		
A	立高生として目指す目標	レベル4	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能を身に付け、応用できる。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成等を工夫し展開する。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを分析しながら、ディベート、ディスカッション等の活動を通して、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話し、伝え合おうとしている。
B	立高生として求める標準	レベル3	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能を身に付け、活用できる。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を、興味を引くように工夫して述べている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、ディベート、ディスカッション等の活動を通して、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話し、伝え合おうとしている。
		レベル2	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能をある程度身に付けている。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫して再構成して述べている。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを再構成しながら、ディベート、ディスカッション等の活動を通して、意見や主張などを論理の構成や展開をある程度工夫して話し、伝え合おうとしている。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	目的や場面、状況に応じて、論理の構成や展開及び表現を工夫して話し、伝え合うために必要となる表現を理解している。日常的な話題や社会的な話題について、自分の考えを論理の構成や展開に工夫をして話し、効果的に互いに伝え合う技能を理解している。	具体的な課題等の解決に向けた活動の中で、論理的に適切な英語で表現する。日常的な話題や社会的な話題について、聞いたり読んだりしたことを活用し、要点や意図などを明確にし、情報や自分の考えを論理の構成や展開を工夫して説明している。	日常的な話題や社会的な話題について、自分の意見を、相手によりよく理解してもらえるように、聞いたり読んだりしたことを言い換えながら、ディベート、ディスカッション等の活動を通して、意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して話し、伝え合う必要性を理解している。
評価方法		定期考査・行動観察	定期考査・ワークシート・行動観察	定期考査・ワークシート・ワークブック・行動観察	
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA,B,Cで記載	

科目名	文学国語演習 I		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	『精選文学国語』（筑摩書房） 『探求論理国語』（桐原書店） 新国語総合便覧（啓隆社） 入試漢字 2800（桐原書店） 新現代文単語（いいずな書店） 現代文長文記述問題集（いいずな書店）
学年 学級	2 年創造理数科 (1 クラス)	単位数	2	教科 担当	石井・梅澤・菅原

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	教科書 (小説)「山月記」中島敦 (小説)「ころ」夏目漱石 (評論)「器としての「わたしたち」」松村圭一郎 (評論)「変身に伴う快楽と恐れ」宮原浩二郎 (評論)「淋しい人間」山崎正和 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の中の、場面の移り変わりや象徴的表現から、心情の変化を的確に読み取ることができる。 ・評論文を構造的に読解し、整理することができる。 ・評論文の用語を理解し、語彙力を高めることができる。 ・複数教材を関連させて分析することができる。
2 学期	教科書 (小説)「舞姫」森鷗外 (評論)「ベルリンの「内」と「外」」前田愛 (評論)「ファンタジー・ワールドの誕生」今福龍太 (評論)「木を切る人／植える人」野口裕二 (評論)「ロボットは心を持つか」石黒 浩 (詩歌)「汚れちまった悲しみに…」中原中也 短歌十二首・俳句十二句 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・近代文語文に親しみながら、内容を正確に理解することができる。 ・小説をテキストとして分析し、的確に表現することができる。 ・韻文の表現技法を理解し、読解に活かすことができる。 ・文章の論理展開を負いながら、その論旨を正確に読みとって表現することができる。 ・近代以降の思想の枠組みを理解し、現代評論文理解の素養を養う。 ・複数教材を関連させて分析することができる。
3 学期	教科書(随想)「転移する記憶」岡真理 (評論)「物語と歴史の間」(野家啓一) (評論)「身体と出現」平野啓一郎 問題演習	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の構造を考えながら読解し、正しく要約することができる。 ・1 年次からの2 年間の学習内容を振り返り、近代以降の思想の枠組みと、現代評論文に取り上げられる社会の課題について理解することができる。

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

- 1 休業中の課題や、小テスト・提出課題は、計画的・継続的に取り組み、必ず復習する。
- 2 授業中は、学習活動に集中し、提示された内容について深く考え、自分の言葉で説明する努力をする。
- 3 課題テスト・定期考査・模試は、返却後よく点検し、間違えた問題についてはなぜ間違えたのかを明らかにし、復習して定着を図る。
- 4 詳細は、各担当者の指示に従うこと。

ルーブリック評価					
観点別評価	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載		
評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度		
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養	知識・技能	論理的思考力 情報発信力 (表現力・論述力)	粘り強く取り組む力		
評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 文中における語彙を正しく理解し、文章の中で使用することなどを通して豊かな語彙を身につけている。 文章の構成や論理の展開に注意しながら読解し、内容と関連付けながら理解する態度を身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて表現したいことを明確にし、読み手や聞き手に伝わるよう文章の構成や展開を工夫している。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確にとらえ、複数の文章や資料との関係を把握している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて、人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深く思考し、多様な論点や異なる価値観と結びつけて新たな観点から自分の考えを深めることができる。 課題を見つけ、その課題を粘り強く解決しようとする姿勢を身につけている。 		
A	立高生として指すべき目標	レベル4	<ul style="list-style-type: none"> 文中における語彙を正しく理解し、さらに関連する語彙を身につけて活用することができる。 文章の表現技法や構成、論理展開に注意しながら読解し、内容と文章の特徴を関連づけて捉え、その効果を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて表現したいことを明確にし、読み手や聞き手に伝わるよう文章の構成や展開を工夫して効果的に表現することができる。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確にとらえ、複数の文章や資料との関係を把握し、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて、人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深く思考し、多様な論点や異なる価値観と結びつけて新たな観点から自分の考えを深める態度が身につけている。 課題を見つけ、その課題を粘り強く解決しようとする姿勢を身につけている。
B	立高生として求める標準	レベル3	<ul style="list-style-type: none"> 文中における語彙を正しく理解して活用することができ、さらに関連する語彙も身につけている。 文章の表現技法や構成、論理展開に注意しながら読解し、内容と文章の特徴を関連づけて捉え、その効果を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて表現したいことを明確にし、読み手や聞き手に伝わるよう文章の構成や展開を工夫している。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確にとらえ、複数の文章や資料との関係を把握することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて、人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深く思考し、多様な論点や異なる価値観と結びつけて新たな観点から自分の考えを深める態度が概ね身につけている。 課題をみつけ、その課題を粘り強く解決しようとする姿勢をある程度身につけている。
		レベル2	<ul style="list-style-type: none"> 文中における語彙を正しく理解し、活用することができる。 文章の表現技法や構成、論理展開に注意しながら読解し、内容と文章の特徴を関連づけて捉えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて表現したいことを明確にし、読み手や聞き手に伝わるよう表現することができる。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確にとらえ、複数の文章や資料との関係を概ね理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて、人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深く思考し、自分の考えを深める態度が身につけている。 課題を粘り強く解決しようとする姿勢をある程度身につけている。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	<ul style="list-style-type: none"> 文中における語彙を正しく理解することができている。 文章の表現技法や構成、論理展開に注意しながら、文章を読解することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて、読み手や聞き手に伝えたいことを明確に表現することができている。 文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確にとらえている。 	<ul style="list-style-type: none"> 文章で読んだ内容をふまえて、人間・社会・自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深く思考し、自分の考えを深めようとしている。 課題を粘り強く解決しようとする姿勢を身につけようとしている。
評価方法	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察		
観点別評価	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載		

科目名	古典探究演習 B		必履修 学校必履修 選択必履修	使用 教材	精選古典探究古文編（東京書籍） 精選古典探究漢文編（東京書籍） 完全マスター古典文法（第一学習社） 錬成古典（尚文出版） 明説漢文（尚文出版） 古文単語 330（いいずな書店） 古文攻略マストアイテム 76（桐原書店） 新国語便覧（啓隆社）
学年 学級	2年創造理数科 (1クラス)	単位数	2単位	教科 担当	石井・北嶋・内海・重田

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	古文・「初冠」（伊勢物語） ・「月やあらぬ」（伊勢物語） ・「小野の雪」（伊勢物語） ・「中納言参りたまひて」（枕草子） ・「二月のつごもりころに」（枕草子） ・「門出」（更級日記） 漢文・故事「先從隗始」（戦国策） ・故事「完璧而帰」（十八史略） 「性之善也、猶水之就下」（孟子） 「人之性悪」（荀子） 「侵官之害」（韓非子） 「兼愛」（墨子） （テスト後 平家物語）	・1年次に学習した古文の基礎的な事項を理解した上で、古文を読むことができる。（助動詞・敬語・文法事項） ・古典文法の助詞の意味用法について理解できる。 ・1年次に学習した漢文の基礎的な事項を理解した上で、漢文を読むことができる。（重要句形・語句の意味） ・思想について理解を深めることができる。 ・それぞれの作品の文学的事項を理解できる。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。
2 学期	古文 ・「道長、伊周の競射」（大鏡） ・「花山院の出家」（大鏡） ・「光源氏の誕生」（源氏物語） ・「若紫」（源氏物語） ・『源氏物語玉の小櫛』（本居宣長） 漢文 ・史伝「鴻門之会」 「四面楚歌」「項羽自刎」 ・漢詩 「江雪」（柳宗元） 「勸酒」（干武陵） 「黄鶴楼」（崔顥） ・思想老荘「無用の用」「人之生也、柔弱」 「曳尾於塗中」「夢為胡蝶」 （テスト後 「長恨歌」（白居易））	・文章の難易度が上がっても、これまで学習した事項をもとに読み解き、内容を理解することができる。 ・文法事項に忠実に現代語訳をすることができる。 ・中国の歴史や文化に親しみながら漢文を読み味わうことができる。 ・思想について理解を深めることができる。 ・それぞれの作品の文学的事項を理解できる。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。
3 学期 学年末	古文 ・「物語」（更級日記） ・「なげきつつひとり寝る夜」（蜻蛉日記） ・「あまぐもにそる鷹」（蜻蛉日記） 漢文 ・「漁父辞」 ・「夜行逢鬼」	・自ら進んで古典学習に取り組み、初見の文章の内容を捉えることができる。 ・漢詩のきまりについての知識を身に付け、鑑賞することができる。 ・共通テストレベルの古典学習を完成させる。 ・それぞれの作品の文学的事項を理解できる。 ・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

- 1 予習として、本文を音読する。重要語句をノートに調べる。
- 2 副教材を活用し、文語文法、漢文の句形、文学史的事項を習得する。古文・漢文の文法書は授業時にも持参する。
- 3 繰り返し復習をし、授業の内容を完璧に身につける。
- 4 詳細については、担当者から指示に従うこと。

ルーブリック評価					
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養		知識・技能	論理的思考力	粘り強く取り組む力	
評価規準		<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を正確に理解し、古典を読むために必要な語彙を身につけている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりを理解し、身につけている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。 ・作品の成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえて、内容の解釈を深め、考察することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりする態度が身につけている。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする態度が身につけている。 	
A	立高生として目指すべき目標	レベル4	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を正確に理解し、古典を読むために必要な語彙を豊富に身につけている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりを理解し、説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意しながら内容を正確にとらえて説明することができる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて、内容の解釈を深め、考察したことを表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、自ら考えを広げたり深めたりする態度が身につけている。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自ら自分の考えを広げたり深めたりする態度が身につけている。
B	立高生として求める標準	レベル3	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を正確に理解し、古典を読むために必要となる語彙を身につけている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりを理解し、活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意しながら内容をとらえることができる。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて解釈し、考察した内容を表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりする態度が身につけている。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする態度が身につけている。
		レベル2	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を正確に理解し、古典を読むために必要となる基本的な語彙を身につけている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて解釈した内容を表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりする態度がある程度身につけている。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする態度がある程度身につけている。
C	立高生として初歩的段階	レベル1	<ul style="list-style-type: none"> ・古典に用いられている語句の意味や用法を正確に理解している。 ・古典を読むための基本的な文語のきまりや訓読のきまりを概ね理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典特有の表現に注意して内容をある程度とらえている。 ・作品の成立した背景や他の作品などとの関係をふまえて解釈した内容をある程度表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結びつけ、考えを広げたり深めたりする態度を身につけようとしている。 ・古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方をふまえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりする態度を身につけようとしている。
評価方法		・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	

科目名	国語演習 A		必履修 学校必履修 選択必履修 自由選択	使用 教材	古典探究古文編・古典探究漢文編（筑摩書房） 精選 文学国語（明治書店） 探求 論理国語（桐原書店） 完全マスター古典文法（第一学習社） 体系漢文（数研出版） 新国語問題集 現代文編・古典編（啓隆社）
学年 学級	3年創造理数科 (1クラス)	単位数	2単位	教科 担当	工藤

期 間	授 業 計 画	到達目標
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文記述基礎演習（答案の書き方） ・古文記述演習（基礎的な知識／書き方の定着） ・漢文記述演習（基礎的な知識／書き方の定着） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「問の種類による考え方の違い」「解答の骨の書き方」をマスターする（現代文）。 ・使用語彙を増やす（現代文・古典）。 ・逐語訳的現代語訳を完璧にする（古典） ・説明問題において、現代語訳を意識した解答が作れるようにする（古典）。
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・現代文記述応用演習（答案作成力の完成） ・古文記述演習（応用的な演習と答案作成力の完成） ・漢文記述演習（応用的な演習と答案作成力の完成） 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期にマスターした「解答の骨の書き方」をベースに、修飾的な語彙をどのように入れて解答を完成させるかを体得する（現代文）。 ・使用語彙を増やす（現代文・古典）。 ・逐語訳的現代語訳をベースに、本文全体を踏まえた現代語訳ができるようにする（古典） ・説明問題において、現代語訳・本文全体・注等を意識した解答が作れるようにする（古典）。
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問対策（個別対応を含める） 	

学習のポイント（授業中や家庭学習の方法）

- 1 なるべく早く古文単語・漢文句形を完成させる。
- 2 現代文については、扱った内容について復習し、背景知識を身に付ける。
- 3 演習を通して自身の知らなかった知識を洗い出し、穴を埋めていく。
- 4 毎回必ず課す授業後提出課題を出す。

※ この授業では定期考査時に試験を実施しない。基本的には、毎回出される提出課題の出来で判断をする。

※ 授業内試験を実施することがある。これも評価の材料とする。

ルーブリック評価					
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	
評価の観点		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度	
立高生として育成したい素養のうち教科で重点的に育成する素養		知識・技能	論理的思考力	粘り強く取り組む力	
評価規準		・今までに獲得した語彙・文法等の言語知識を活用して答案を作ることができる。	・何が問われているか、どのように書くべきかを考えて答案を作成することができる。	・授業で出される課題に取り組み、自学することができる。	
A	立高生として目指すべき目標	レベル4	・文脈や文字数に応じて、語彙、古文単語、古典文法、漢文用字、漢文句形等基本的な知識の正確性や量を答案に反映できている。	・問われていることを精査し、本文の論理を壊すことなく、与えられた条件をすべてクリアし、必要な部分は適宜自分の言葉で置き換えながら答案を作成することができる。	・授業で扱った題材についてきちんと復習した上で、授業で出された課題をすべて提出し、実施された小テスト等の解きなおしもして自身の知識を盤石にすることができる。
		レベル3	・必要なことをおさえつつ、語彙、古文単語、古典文法、漢文用字、漢文句形等基本的な知識の正確性や量を答案に反映できている。	・問われていることに向き合い、本文の論理を壊すことなく、必要な条件を満たして答案を作成することができる。	・授業で扱った題材についてきちんと復習した上で、授業で出された課題をすべて提出することができる。
B	立高生として求める標準	レベル2	・答案に反映しきれていないものの、語彙、古文単語、古典文法、漢文用字、漢文句形等基本的な知識の正確性や量はある。	・問われていることを外さずに、必要な条件を満たしたうえで、答案を作成することができる。	・授業で出された課題をすべて提出することができる。
		レベル1	・語彙、古文単語、古典文法、漢文用字、漢文句形等基本的な知識の正確性や量が十分ではないものの、一定程度理解している。	・問われたことに向き合い、答案を作成することができる。	授業で出された課題を概ね提出することができる。
評価方法		・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	・ペーパーテスト・レポート、論述課題・行動観察	
観点別評価		レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	レベル1～4の4段階で評価し、最終的にA, B, Cで記載	